

障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考えるカフェ (ココロン・カフェ) の実施結果について

1 概要

第3回及び第4回ココロン・カフェを開催し、障害を理由とする差別の解消等について、市民による意見交換等を行った。

2 実施日時及び参加者数等

(1) 第3回ココロン・カフェ

① 日 時：平成27年1月27日(火) 10:00~12:00

② 場 所：仙台市福祉プラザ1階プラザホール

③ 参加者：46名(7グループで意見交換実施)

うち協議会委員(阿部会長, 黒瀧委員, 白江委員, 杉山委員, 千葉委員,
中村(祥)委員, 早坂委員)

(2) 第4回ココロン・カフェ

① 日 時：平成27年3月1日(日) 14:00~16:00

② 場 所：仙台市役所本庁舎8階ホール

③ 参加者：74名(12グループで意見交換実施)

うち協議会委員(阿部会長, 市川委員, 黒瀧委員, 柴田委員, 杉山委員,
高橋(望)委員, 千葉委員, 橋本委員, 畑中委員)

(3) 実施内容

① はじめに

② 仙台市説明

・障害を理由とする差別の解消について

③ ワークショップ

・グループワークによる事例検討

「おいしいパフェ屋さんがあるが、エレベーターがないので、車いすの方は行けない」

「盲導犬をつれて行って店に入ると、出ていってくれというのがまだある」

「視覚障害の方がアパートを探していた時、不動産屋と大家さんに火事を起こされるからダメだと断われた」

「仕事場の会議に要約筆記が必要なのに、用意をしてくれない。耳が聞こえないのにあまり筆談をしてくれない」

・意見発表

3 意見交換において話された主な内容

○ 事例に関する主な意見

「おいしいパフェ屋さんがあるが、エレベーターがないので、車いすの方は行けない」

- ・ 障害者から具体的に配慮してもらいたいことを伝えることが必要。
- ・ 店側としては、エレベーター設置という対応は難しいと思う。
- ・ 店員や周りの人におぶってもらえるといい。
- ・ 店員にパフェを1階まで持ってきてもらい、車の中などで食べられるようにするといいのではと思う。

「盲導犬をつれて行って店に入ると、出ていってくれというのがまだある」

- ・ 店側が、身体障害者補助犬法により盲導犬同伴者の入店を拒否することができないことを知らないのではないか。
- ・ 盲導犬に関する正しい知識がないことにより誤解や偏見が生じているのではないか。
- ・ 特に飲食店の場合、衛生面に不安があるのかもしれない。
- ・ 客に嫌がられるなどのため、店側が入店拒否するのかもしれない。
- ・ 犬嫌いや犬アレルギーの人もいるため、入店拒否するのではないか。
- ・ 身体障害者補助犬法や盲導犬について、市民や事業者に分かりやすく周知を行い、正しい理解の促進が必要。盲導犬ステッカーの一層の普及など。
- ・ 入店の際、障害者から盲導犬に関する説明を行うことで理解を得られやすくなると思う。

「視覚障害の方がアパートを探していた時、不動産屋と大家さんに火事を起こされるからダメだと断われた」

- ・ 視覚障害のことがわからないため、誤解や偏見につながっているのではないか。
- ・ 視覚障害者に会ったことがないため、不安があるのではないか。
- ・ 不動産屋や大家に、視覚障害や視覚障害者に関する正しい理解の促進が必要。
- ・ 視覚障害者から、不動産屋等に、障害状況などを丁寧に説明することが必要。場合によっては、現在の生活状況を見てもらうこともいいと思う。
- ・ 障害者と不動産屋の間に入って、本人の生活状況などについて説明できるコーディネーターや相談員がいると良いと思う。
- ・ 晴眼者が保証人になることで借りられた事例もあったとのこと。
- ・ 不動産屋や大家の不安を解消することが大事だと思う。そのための具体的な仕組みづくりが必要。

「仕事場の会議に要約筆記が必要なのに、用意をしてくれない。耳が聞こえないのにあまり筆談をしてくれない」

- ・必要な配慮が会社側に伝わっていないのではないか。
- ・職場内で必要な配慮について言い出しづらい環境だったのかもしれない。
- ・採用時に聴覚障害のことを把握していたのであれば、会社側は必要な配慮を提供すべき。
- ・聴覚障害者から必要な配慮についてきちんと意思表示をすることが必要。
- ・聞こえない状況や必要な配慮について、会社側と話し合いをし、その上で、どこまで会社が対応できるか確認すると良いと思う。
- ・職場内での理解がどの程度浸透しているのかが問われる。上司だけではなく、まわりの職員による支えが必要だと思う。
- ・障害者と会社側の間にクッションとして入ってくれる人がいると良い。

○ 障害による差別解消全般に関する主な意見

- ・障害特性等を知らないことに起因する無理解，誤解，偏見，不安が差別につながっているのではないか。
- ・障害者の差別の多くはコミュニケーション不足から生じていると思う。
- ・障害者が配慮して欲しいことなどを言い出しづらい環境になっているのではないだろうか。
- ・障害者と交流する場所や機会が不足しているように思う。
- ・あらゆる機会を捉え障害特性等の啓発を進めていくことが重要。
- ・「何が差別にあたるのか」はっきりとした物差しが必要。
- ・互いに理解し，歩み寄るための具体的な工夫や事例の共有が大切。
- ・キーワードは相互理解。お互い動いて話し合って理解していくことが大事
- ・地域における偏見等の是正が必要。
- ・困った時に仲介に入ってくれる第三者が必要。
- ・中立の立場に立てるコーディネーターによる調整が必要。
- ・障害者の思いを代弁できる人が必要。
- ・ココロン・カフェのような障害者との出会いの場や機会の拡大が必要。
- ・障害者自身から積極的に情報等を発信していくことが大事。
- ・罰則規定も必要かもしれない。

○ 差別解消の理念に関する主な意見

- ・支援や助けが必要な時に当事者が遠慮しないで言える社会になるといい。
- ・対立ではなく差別をみんなで無くしていくという考えが大事。
- ・対立ではなく一緒に考えていく社会。

- ・対立ではなく理解を深めていくことが大切。
- ・当事者からの発信を受け止めることができる社会。
- ・認め合う社会。
- ・障害者だけではなくみんなが暮らしやすいまちになって欲しい。

○ ココロン・カフェに関する意見

- ・このような機会を増やして欲しい。
- ・色々な意見を聞いて良かった。でも、まだまだ多くの話し合いが必要だと感じた。
- ・障害のない人も一人でも多く参加してほしい。
- ・すぐには変わることはないが、続けていく必要のある大事な時間だと思う。
- ・もっと多くの人に参加してもらいたい。そのくらい良い取り組みだと思う。
- ・ココロン・カフェの子どもバージョンがあるといいと思う。

○ その他

- ・意思疎通支援等の制度の充実も必要。
- ・支援学校などのサポートが充実しすぎると、障害児者と日常的に関わる機会が少なくなってしまうのではないかと心配。
- ・「差別」という言葉の印象が強いためか、市民を巻き込んでいくためには工夫が必要かもしれない。

○ まとめ

- ・障害者からサービス等の利用や合理的配慮の提供を求める旨の意思の表明が必要である。その際、自ら表明することが難しい人がいることに注意する。障害特性等を踏まえたコミュニケーション等の支援が必要となる場合もある。また、手話通訳等の意思疎通支援の充実を求める意見があった。
- ・障害者が求めるサービス等に対して消極的な対応を行う理由としては、障害特性等に関する理解不足等から生じる誤解、偏見等が考えられる。これまでの経過などにより事業者が抱えてしまう不安が理由の場合もあることから、障害理解の促進に加え、不安解消のための具体的な説明や仕組みづくりが求められている。
- ・全般的に、障害を理由とする差別は、障害者と事業者等とのコミュニケーション不足から生じていることが多いのではとの意見があった。
- ・障害者と事業者等との間で中立的な立場で調整を行うコーディネーターが必要であるとの意見が多く話されていた。
- ・相互理解が大切であるという意見が多く出ていた。時間はかかるかもしれないが、障害者、事業者、市民それぞれが認め合う社会の実現に向けて努力すべき。

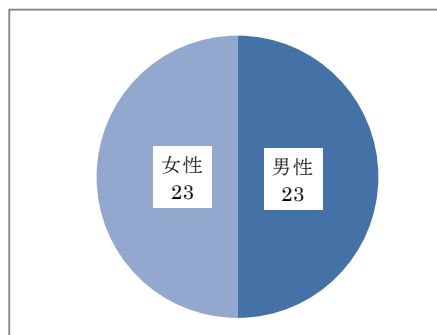
4 実施状況について（アンケート結果より）

【第3回ココロン・カフェ】

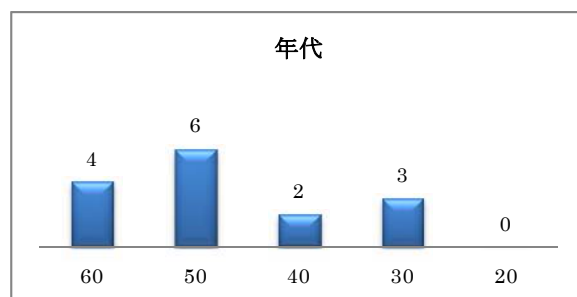
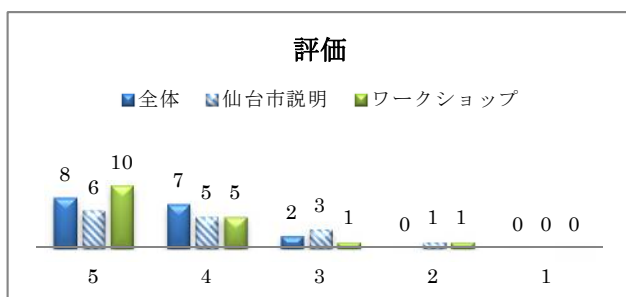
○ 参加者数

男性	女性	合計
23人	23人	46人

- ・ 障害者施策推進協議会委員
- ・ 障害当事者
- ・ 障害関係団体関係者
- ・ 民生委員児童委員
- ・ 地域関係者 など



○ アンケート結果（回収 17 人：男性 8 人/女性 9 人）



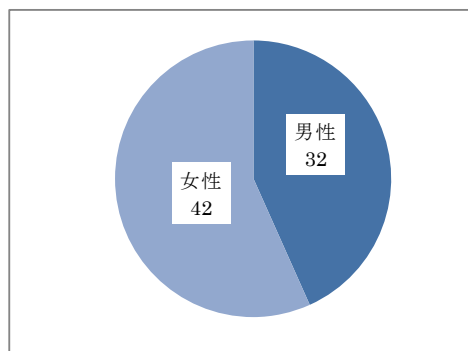
5:非常によい 4:よい 3:どちらともいえない 2:あまりよくない 1:全くよくない

【第4回ココロン・カフェ】

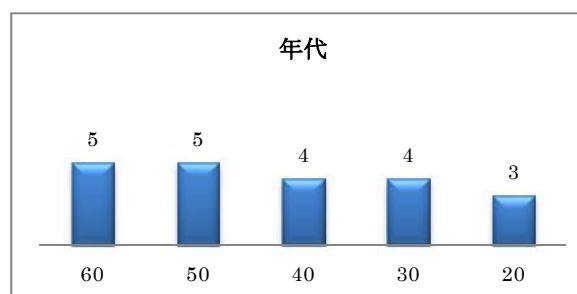
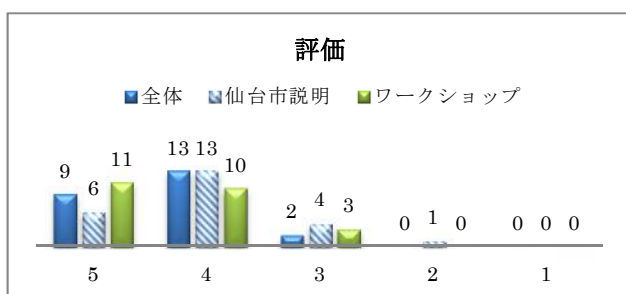
○ 参加者数

男性	女性	合計
32人	42人	74人

- ・ 障害者施策推進協議会委員
- ・ 障害当事者
- ・ 障害関係団体関係者
- ・ 民生委員児童委員
- ・ 地域関係者、学生 など



○ アンケート結果（回収 24 人：男性 9 人/女性 15 人）



5:非常によい 4:よい 3:どちらともいえない 2:あまりよくない 1:全くよくない